

週刊

こびと



©'23 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L541988

NIE
きょういく
教育に
いんしょん
新聞を

4

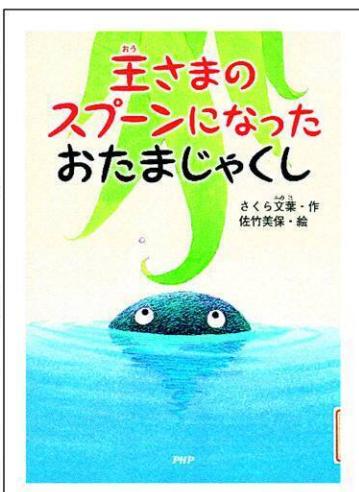
小学1・2年生向け

王さまのスプーンになったおたまじゃくし

さくら文葉作 佐竹美保絵

お城のそばを流れる小川で、たくさんのおたまじゃくしが生まれました。1匹のおなかをすかせたおたまじゃくしが、「どこかにおいしいものをおもうぞんぶん食べられるところはないかしら?」と言うと、川辺の柳が、王様のスプーンになれば王様と一緒にごちそうを食べられると教えてくれました。そこでおたまじゃくしは、北風に頼み、息も凍るほど冷たい風でコチコチに固めてもらうと、スプーンそっくりに化けてお城に入り込みます。お城では、王様が一人でごはんを食べていました。おたまじゃくしのスプーンでスープをすくうと、王様の口に入る前にスープがなくなってしまいます。怪しこんな王様にスプーンの正体がばれてしまい……。

(PHP研究所 品切れ、県内24館で所蔵)



小学3・4年生向け

捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ

いでのみちよ
井出留美著

田村陽至さんは「パンぎらいのパン屋の子」でした。パン屋になる気はなく、環境問題を解決する仕事に憧れます。が、思うような仕事を見つけられず自然ガイドになります。仕事のため訪れたモンゴルで羊の解体に立ち会った時、毛皮も肉も内臓も無駄にせず、食べられる部分は残さず食べ、生きものの「いのち」を大切にする遊牧民の暮らしに感動しました。そして、そんな遊牧民の暮らし、「環境問題をとく鍵」になると気がつきます。帰国後、田村さんは実家のパン屋を手伝うためにパン職人になりました。売れ残ったパンを捨てるしかない日々に直面すると、遊牧民の暮らしを思い返しながら、捨てるパンをなくそうといろいろなことに挑戦していきます。

捨てないパン屋の挑戦
しあわせのレシピ

井出留美

あかね書房

(あかね書房 1430円)

図書館へ ようこそ

小学5・6年生向け

天の台所

落合由佳著

幼い頃に事故で母親を失った小学6年生の天は、お父さん、弟の陽、妹の光との4人家族です。明るく元気で、おいしい料理を作つて家族を支えてくれていたばあちゃんが亡くなつてから、生活は荒れ、ごはんも買ってお弁当やお惣菜ばかりになりました。ある日、浮かない気持ちを抱えた天が行く当てもなく出かけると、がみがみと怒る「がみババ」の店の前を通りかかります。がみババは、ばあちゃんと仲良しでした。天はがみババが苦手ですが、店から漂ういいにおいに誘われて台所をのぞいたことから、がみババに料理を教わることになり……。ばあちゃんの代わりに台所に立ち、少しずつ前を向いて歩き始めた天が、家族を助けようと奮闘します。

(講談社 1540円)



みの実りの秋「食」巡る物語

「みの実りの秋」「食欲の秋」といわれる季節です。今回は「食」をテーマに、食べることが好きなおたまじゃくしの話、あるパン屋の挑戦の伝記、料理を始めた少年の物語、給食をきっかけに変わつて中学生を描いた物語を紹介します。
(山梨県立図書館 岩谷紘香)

=毎月第2週に掲載します

中学生向け

給食アンサンブル

きさらぎ ちよ
如月かずさ著

「愉快で明るく、運動神経抜群で大食いな人気者」として振る舞ってきた雅人は、中学生になり悩み始めました。テストの成績が悪いうえ、バスケット部では経験者のレベルに追いつけず活躍できません。給食の時は大げさに余り物を奪い合い笑いをとりますが、内心では、誰かに人気者のポジションを取られるのでは、と不安に思っていました。けれど、英会話教師のラミレスの「ユー・キャン・チキンジ・ユアセルフ」という言葉と、給食のABCスープが、雅人を変えます。中学校1年生の雅人とその同級生5人が、いつも何げなく食べている給食をきっかけに、悩みと向き合つたり自分を変えたりしながら、特別な思い出を作り成長する様子を描く連作短編集です。



(光村図書出版 1045円)